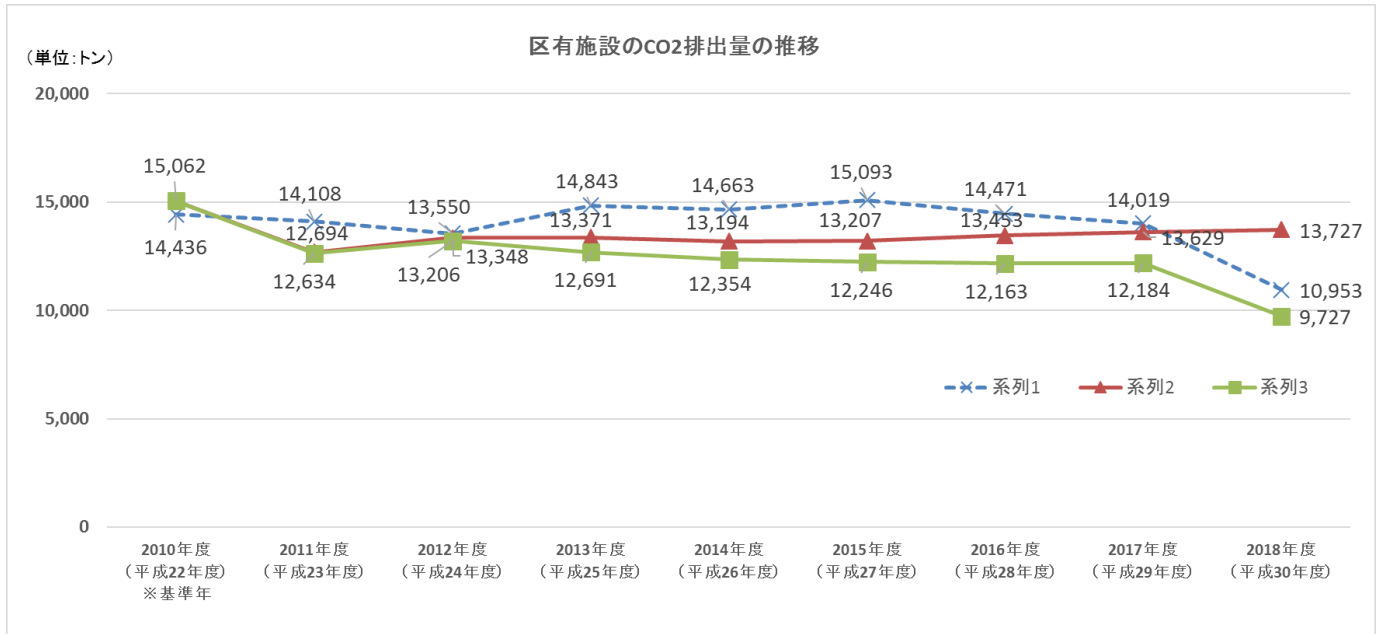


## 区有施設の平成 30 年度 CO2 排出量



**系列1** 当該年度の調整後排出係数で算出  
平成 30 年度の CO<sub>2</sub> 排出量 10,953 トン (前年度比 21.8%の減)

**系列2** 1990 年度の排出係数で算出 (従来 of 算出方法)  
⇒導入している電力事業者に関わらず、一律 1990 年度の東京電力排出係数 (0.000380t-CO<sub>2</sub>/kWh) を用いて算出しています。  
平成 30 年度の CO<sub>2</sub> 排出量 13,727 トン (前年度比 0.7%の増)

**系列3** 1990 年度の排出係数で算出 (新しい算出方法)  
⇒第 4 次実行計画策定にあたり、低炭素型電力事業者の導入効果を評価するため、CO<sub>2</sub> 排出量を再計算しました。低炭素型電力を使用している施設の CO<sub>2</sub> 排出量は、低炭素型電力排出係数により算出しています。  
※詳しくは、第 4 次実行計画 資料 5 をご参照ください。  
平成 30 年度の CO<sub>2</sub> 排出量 9,727 トン (前年度比 20.1%の減)

排出係数：エネルギーを消費したときに発生する CO<sub>2</sub> を算定するための値をいいます。

$$\text{CO}_2 \text{ 排出量} = \text{エネルギー使用量} \times \text{そのエネルギーの CO}_2 \text{ 排出係数}$$

電気の排出係数は、毎年度変動します。

**系列1** 実際の CO<sub>2</sub> 排出量を把握するため、当該年度の排出係数を用いて算出 (参考値)

**系列2** } エネルギー使用量の削減量を評価するため、1990 年度の排出係数を用いて算出

**系列3** }